

国語試験範囲：問題と答え一覧

問題	答え
「イメージ」は「潤滑油」/食い違いがはなはだしくなる と？	潤滑油としての役目を喪失する
われわれの環境はますます多様になり、予測あるいは期 待を下しながら、行動せざるをえなくなっている。つまり？	イメージに頼りながら行動せざるをえなくなっている
イメージというものはだんだん…もとの現実と離れて独 自の存在に化する。イメージが独り歩きしてしまうが、そ ういったイメージに対する名称	バケモノ
ササラ型社会とタコソボ型社会の違い	「ササラ型」社会は異分野や異文化を横断する関係性が あるが「タコソボ型」は集団ごとに閉じており、他集団 との関係が希薄であるという違い。
社会が発達する…機能集団が多角的に分化(個別的な集 団がタコソボ化)してくること自体は、世界的な傾向。日 本の特殊性は？	日本では教会あるいはサロンといったような役割をする ものが乏しく、したがって民間の自主的なコミュニケー ションのルートがはなはだ貧しい点
個別的な集団がタコソボ化し、社会がだんだん大社会に なっていくと、被害者意識が増大する。何故？	他のタコソボの人たちとコミュニケーションをとらない ので、他のたこソボであったり、他のコミュニティであっ たりに対して偏ったイメージを持ってしまう。そのため 自分たちだけが不利を被っている、自分たちだけが良く ない立場に置かれているという、コミュニケーション不 足から来るマイノリティ意識から被害者意識が増大して しまう。
ポリコレ疲れ(欧米)とは？またそれはどこからくるのか？	クレームじみた主張が縦横無尽に駆け巡り、国民が疲弊 する問題。被害者意識が強まることで攻撃性というもの が生まれる。
ルース・ベネディクトの著作理由	日本人の行動様式・思考様式を解明するため
日本人は「世間にお世話になっている」と感覚が強い。こ れが[〇〇]になっている	日々の決断や行動の出発点
「世間」と「社会」の違い(欧米人は世間ではなく 社会における自由を重視する。)	社会は法律(ルール)や制度で定義づけられている世界で あるが、世間は地域・親族・会社など、直接間接問わず、自 分に何らかの関係のある人たちだけで形成される世界で あるという違い。/社会における自由とは、諸個人の欲望 を満たしながら全体の平和を考えようとする考え方。こ の時憲法・法律が個人の欲望を調整する。
ベネディクトが考える日本人にとっての「恩」とは？	肩の荷、すなわち返すべき借りであり全力で果たすべき 責任のこと。/第二次世界大戦のあの極端な自己犠牲にも つながると指摘。
「恩に着る」、「恩着せがましい」という表現/恩は必ずし も受けてうれしいものではないが何故？	日本人は偶然に人から恩を受け、したがって返礼の負い 目を背負い込むことを好まないから。特に単なる知人や 自分とほとんど対等な人間の場合に思う。(恩は目上の人 から受けるもの。)
日本の幼児は、西欧人がおそらく想像すると思われる仕方 とは、異なった仕方では育てられるがどう違う？それによ って日本人の人生観、性格に何が生じる？	赤ん坊(と老人と)に最大の自由とわがままが許されてい る違い。これによって日本人の人生観や性格に二元性が 生じる。
二元性とは	幼少期に由来する奔放な側面と礼儀・恥・世間などの不 文律に忠実に従う側面